

平成24年度 景観教室

実施報告書

宮崎市立高岡中学校



主催：宮崎市都市整備部景観課

協力：(社)宮崎県建築士会

はじめに

宮崎市では、「景観都市づくり」をまちづくりの重点政策に位置づけ、様々な施策を行っています。

「景観」とは、海、山、川などの自然環境、建築物、道路など目に映るまちの姿だけではなく、まちの雰囲気や文化的・歴史的な様相など、印象も含めた幅広いもの、つまり、私たちが生活している空間や環境そのものであり、都市の個性や文化水準を表すものといえます。

今回の景観教室を行った宮崎市高岡町は、大淀川が緩やかに流れ、周囲の山並みや農村など美しい自然景観や、天ヶ城麓地区や去川・二見家住宅など歴史的な景観資源が数多くあります。それらを生かしながら、文化と歴史が豊かな快適な生活が営めるように、住民の皆さんが共有できる良好な景観を有する「まち」をつくる必要があります。

美しい景観は自然に生まれるものではなく、市民、事業者、そして行政の日頃からの意識と努力の積み重ねによって作りあげられるものです。このため、市民ひとりひとりの「景観」への関心や意識を向上、郷土への愛着の醸成を図ることが大切です。このことから、本市では、将来の景観づくりの担い手である児童・生徒の皆さんの景観教育を大変重要なものと考えています。

「景観教室」は、景観に関する学習を学校授業の中に取り入れたものとして、平成14年度から各学校と協力しながら実施しています。

また、平成21年度からは、(社)宮崎県建築士会(宮崎市景観整備機構)の協力のもと実施しています。

目次

第1章 景観教室の概要	・・・P 4
第2章 オリエンテーション	・・・P 5
第3章 景観を知る	・・・P 6
第4章 景観を調べる	・・・P 13
第5章 景観を表現する	・・・P 17
第6章 景観教室をふりかえって	・・・P 23

第1章 景観教室の概要

1 実施目的

「景観」は市民一人ひとりの財産であり、良好な景観の形成を推進するには、市民や事業者の景観への意識や愛着を深めることが大切です。

宮崎市では、市民の景観への意識を醸成するため、地域の方々と協力して道路や川などに花を植えたり、また、景観のセミナーなどの各種イベントを開催するなど、様々なかたちで情報提供や啓発活動に努めています。

景観教室は、「景観」に関する学習を学校教育の中に取り込むことにより、将来の景観形成の担い手である児童生徒の景観への興味や関心を喚起し、活動を通じて知識の習得を行うとともに、郷土愛の醸成を図ることを目的としています。

2 実施校

宮崎市立高岡中学校（江谷 信一 校長）

3 実施期間

平成24年12月 ～ 平成25年1月（計 4回）

4 協力団体

(社)宮崎県建築士会（宮崎市景観整備機構）

授業は、(社)宮崎県建築士会宮崎支部の景観まちづくりメンバー「KOALA（コアラ：Keikan Organization for Arranging Landscape and Architecture）・宮崎」の皆さんが企画立案し、実施しました。

5 実施科目

1年総合的な学習科（担当 中 啓子 教諭） 生徒89名

※ 宮崎市高岡町の概要

宮崎市高岡町は、宮崎市の西部に位置し、自然に包まれ、緑豊かで歴史的な資産の多いまちです。

平成18年1月、旧高岡町は宮崎市と合併しました。合併後も、豊かな自然と歴史的資産がある美しい町として発展しています。

- ・人口：11,341人（平成25年1月1日現在）
- ・面積：144.58km²



第2章 オリエンテーション

1時間目① —オリエンテーション—

- ①一年生教務主任の中先生から授業内容の説明
- ②宮崎市景観課から景観教室について説明
 - ・景観教室の概要について
- ③高岡天ヶ城麓築まちづくり協議会・松木会長から、高岡天ヶ城麓地区の歴史的なまちづくりについて説明
 - ・歴史的まち並み保存の意義について
 - ・まちづくりの方法について
- ④講師をして頂く、(社)宮崎県建築士会の皆さんの挨拶
 - ・講師を代表して日高さんの挨拶
 - ・景観教室を通じて「高岡をもっと好きになってほしい。」

(社)宮崎県建築士会の皆さん

左から、日高達郎さん
甲斐慎二さん
海老原邦子さん

代表して日高 達郎さんから、
景観教室の方法、景観教室を通じ
て、「高岡のまちをもっと好きに
なってほしい！」と、お話しして頂
きました。



地元・高岡天ヶ城麓地区まちづくり協議会
の松木さん



オリエンテーションの様子
みんな真剣に聞いていますね♪

第3章 景観を知る

1時間目②

—景観とは何か?—

景観づくりの考え方、宮崎市の景観上の特徴や取り組み、法律や条例などについて、建築士会の日高さんが説明しました。

■「景観」とは？

- ①海、山、川などの自然や、建物、道路など、私たちが目にするまちの姿
- ②まちの雰囲気や文化的・歴史的ななかりなどの印象



Check 私たちが生活している空間や環境そのものであり、その都市の個性や文化水準を表すもの。

■景観を構成するもの

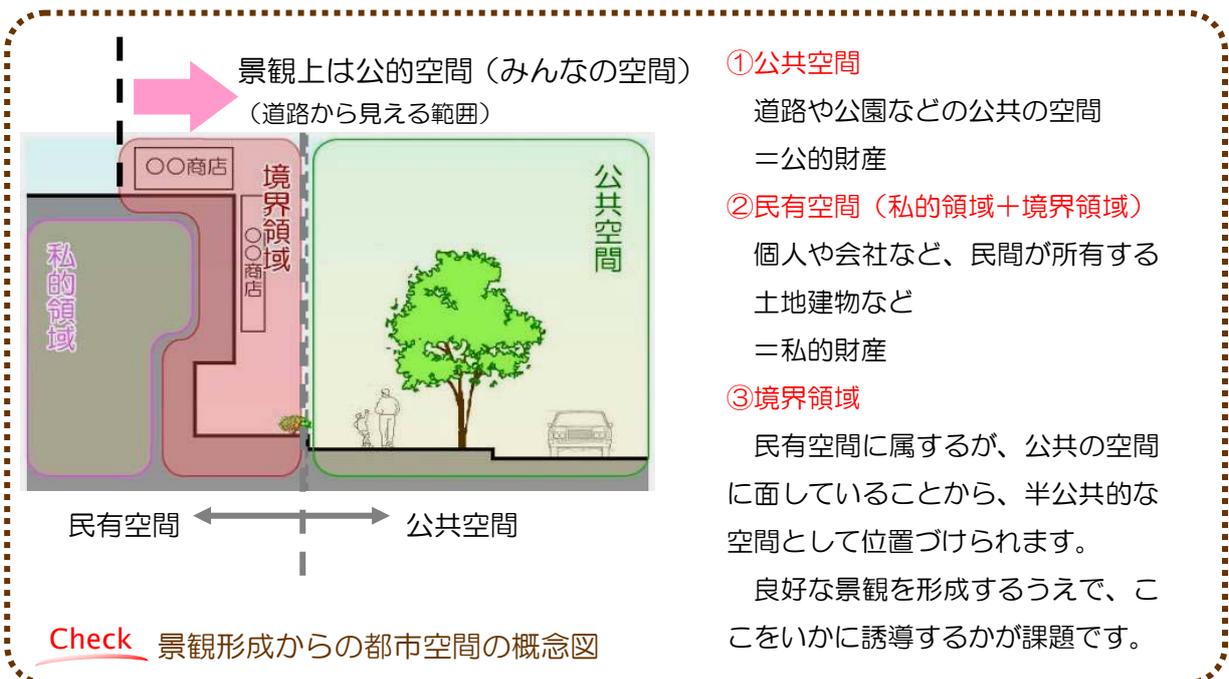
道路や建物をはじめ、街路樹、橋、広告物、公園、背景となる山並みなど、わたしたちがまちを眺める時に目に入る様々なものが景観をつくっています。



Check 景観を構成しているもの

■景観はどこまでが範囲なのか？

景観形成の観点から、都市の空間構成を考えてみたとき、重要なポイントとして次の3つがあります。



■なぜ、景観を考えることが重要になってきたのか？

これまでは・・・

①経済性、機能が最優先

- ・ 技術的な面にしか配慮されなかったこと。
- ・ きまりの範囲内であれば、建築が自由であったこと。
- ・ 歴史的価値を考えずに開発が進行したこと。

など、経済成長を重視したことで、自然破壊や歴史的なまちなみの消滅など様々な問題が現れました。



広告物や電線があふれる景観

②法制度の未整備

建築物などについて、景観の観点から規制・誘導を行う明確なルール（法律）が存在しませんでした。

Check まちづくりに関する法律（景観についてはあまり考慮されていない）

- ・ 建築基準法：建物の敷地や構造などに関する最低限の基準を定め、国民の生命や財産を保護する法律
- ・ 都市計画法：土地の使い方、道路や鉄道の整備方法を定め、都市の健全な発展と秩序ある整備を目的とした法律

③デザイン基準づくりの遅れ

「質」で判断されるデザインの明確な基準づくりが難しく、市民や事業者、行政になじみにくかった（美の基準づくり）。



Check ゆとりある、豊かな生活環境の追求

全国一律の法制度のもと、同じようなまちなみが出現するなかで、歴史的な街並みや自然環境への関心が高まり、身近な生活環境をより豊かなものにすることが求められるようになってきました。

■景観法の制定（平成 16 年 6 月）

社会情勢の変化から景観に対する意識が全国的に高まる中、これまでのまちづくりの考え方を見直し、「美しい景観は国民共有の財産」という理念のもと、各地の景観の取り組みを支援、強化するために、景観に関する法律を制定しました。

- ・ 景観づくりのための計画（景観計画の策定）
- ・ 景観計画に、景観のルールを位置づける（罰則あり）

■先駆的な都市景観形成の例（横浜市 1965 年頃～）

「まちのデザインを継続的にコントロールする」というイメージのもと、都市空間の質的向上をめざして様々なプロジェクトを展開しています。



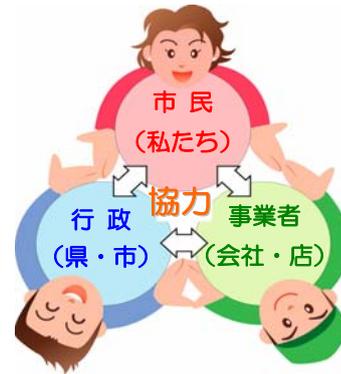
7 みなとみらい21地区



元町商店街

■景観づくりの基本的な姿勢

市民・事業者・行政は、それぞれに求められる役割を果たしながら協力して景観を形成していくことが重要です。



■宮崎市の景観行政

本市では、平成2年に「宮崎市都市景観条例」を制定し、様々な景観施策に取り組んできました。その後、平成16年に景観法が制定され、本市でも平成19年10月に「宮崎市景観計画」を策定し、様々な景観施策に取り組んでいます。

①景観計画の区域

景観計画は市内全域を対象区域としています。その中でも、景観上特に重要な地区5つを「重点景観形成地区」に指定しています。



高千穂通り地区



イチザキリゾート地区



日南海岸地区



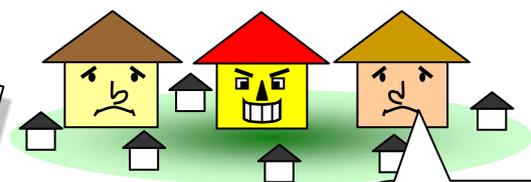
大淀川地区



宮崎駅東通り地区

②景観形成の方針・ルール

「宮崎市景観計画」において、“豊かなひろがりのある、花のにあうまち・みやざき”を景観形成のための基本理念とし、この実現に向けた目標や方針を示しています。また、建物の色彩基準などの基準（ルール）を定め、調和のとれた景観形成を推進しています。

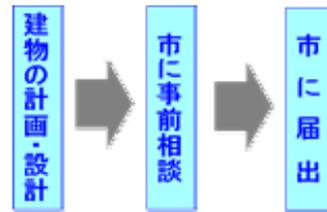


建築物等色彩ガイドライン

まわりの建物と調和した色彩にしてね。

③建物などの事前届出制度

建物の新築や広告物の設置などを行う場合には、景観法や景観条例に基づき、市へ事前に届出を行う必要があります。事前に届け出てもらうことで、景観上どのように配慮したか、景観のルールに適合しているか、その内容についてあらかじめ確認し、必要であればアドバイスをを行います。



④市民意識の啓発

行政が、建物のデザインや色彩をコントロールするにしても、建築の自由、表現の自由など問題があります。そこで、市民が自主的に「景観をよくしていこう！」という意識をもっていただくため、景観の啓発が重要になっています。

(主な啓発事業)

- ・ 景観重要建造物・景観重要樹木の指定（建造物5件、樹木2件指定）
- ・ 専門家による講演会等の開催
- ・ 宮崎市景観賞
- ・ 違反広告物の市内一斉除却
- ・ 宮崎市版365日誕生花
- ・ 市民による花の植栽ボランティア（毎年4,10月に橋通りなどで開催）
- ・ 景観に関するワークショップの開催
- ・ 「ちょこっと景観」の発行（毎月1日、市HPに掲載）
- ・ 宮崎市風景絵画コンクール（次ページにて説明）



景観重要建造物「河上家武家門」



花の植栽ボランティア



景観賞受賞「去川関所御定番二見家住宅」



景観ワークショップ（まち歩き）

宮崎市風景絵画コンクール

【目的】

将来を担う子どもたちが、市内の風景を描くことで、宮崎市への愛着や景観への関心を高めてもらおう

【募集内容】

夏休み期間中に市内の小中学校に通学する児童、生徒さんを対象に、「えがこう 宮崎市のまち・風景」をテーマに絵画を募集

【部門】 小学生3部門、中学生1部門

【平成24年度募集総数】 1022点

【平成24年度受賞・入選数】 66点



中学生部門 金賞



中学生部門 銀賞



中学生部門 銅賞



中学生部門 審査員特別賞



■宮崎市、そして高岡町の景観

市内や田野町では多くの美しい景観が見られます。

宮崎市内の景観↓

高岡町の景観→



①



②



③



④

① ワシントニアパーム並木

② 県庁前楠並木

③ 堀切峠

④ 大淀川



上) 去川の大イチョウ

下) 天ヶ城の桜

2時間目

—高岡のイメージを探る—

高岡について、「マインドマップ」という方法で連想し、何でも自由に書きました。各班60～110個ものキーワードを出してもらいました。この内、景観に関する言葉については、各班20個程度ありました。

最後に、連想した言葉の中から、「ベストオブ高岡！」(高岡の景観ナンバーワン)という言葉各班ごとに1個選びました。



建築士会日高さんから説明を受けます。



中心に「高岡」と大きく書きます。



天ヶ城、武家門、
長饅頭・・・

真剣に取り組んでいますね♪



まちづくり委員会の皆様も加わりました。



1組4班の皆さんの発表



2組2班の皆さんの発表

発表した二班の「ベストオブ高岡」はいずれも、「天ヶ城」でした。

Check マインドマップ（連想図）とは？

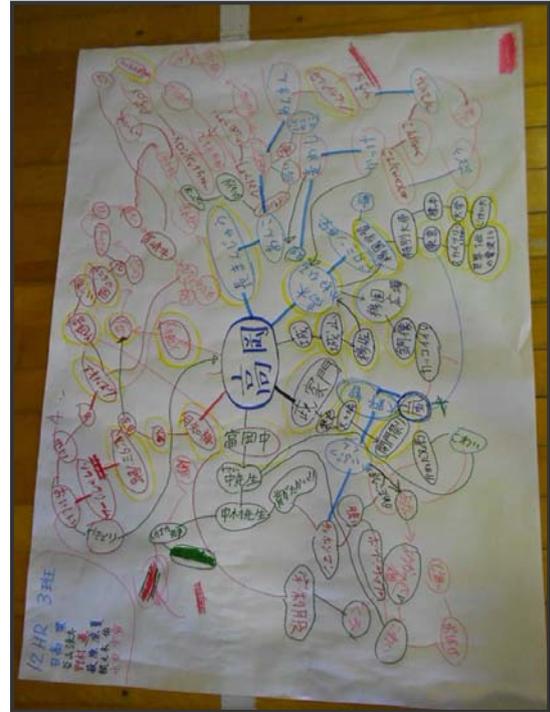
一つのテーマについて、記憶を引き出し、新たに発想するための方法です。

1. 連想の出発点としてテーマを決め、それをイメージ、絵などで表現します。
2. 連想の方向性となるキーワードを出し、それから連想することを次々につなげます。
3. 最後に、連想した言葉の中から、テーマにふさわしい言葉を1、2個選びます。

■各班のマインドマップ（一部のみ掲載）



1組1班 ベストオブ高岡は「天ヶ城」



2組3班 ベストオブ高岡は「武家門」



3組2班 ベストオブ高岡は「天ヶ城」

どの班も模造紙に入りきれないほどたくさんの言葉を記入していました。高岡の景観に関するキーワードは、「天ヶ城」、「武家門」、「大湊川」、「桜」、「月知梅」、「去川の大イチョウ」など、自然（花や樹木）と歴史を感じる景観が多かったです。この中でのベストオブ高岡は、多くの班が「天ヶ城」を選んでいました。町のどの場所からでも見ることの出来るランドマークであり、桜の花見やスポーツなどで訪れる、町民の皆さんが最も親しみを感じる場所ですね♪

第4章 景観を調べる

3時間目

一まち歩き・調査一

旧薩摩藩の歴史的な街並みが残る高岡・天ヶ城麓地区のまち歩きを行いました。生徒の皆さんは、「いいなあ」と思う景観、「これはちょっとどうかな」と思う景観を、記録してもらいました。



日高さんによる事前説明

★まち歩きのコース



赤、青、緑の3班に分かれて高岡天ヶ城麓地区内を歩きます。

この地区は、旧薩摩藩の武家門や石垣が残る歴史を感じさせる街並みです。

街歩きには、建築士会から5名の他、地元・高岡天ヶ城麓地区まちづくり協議会3名の方々と一緒に行いました。この8名の方々は、この地区の歴史的な街並み保存活動を行っています。

★まち歩きの様子



石垣の雰囲気がいいね。



福添さんからまちづくりの説明



立派な門だよね。
高岡小学校の頃は、
この前を通っていたね。



壊れかけた山門



本永寺前を並んで歩きます。



レトロな放水栓



内山神社前

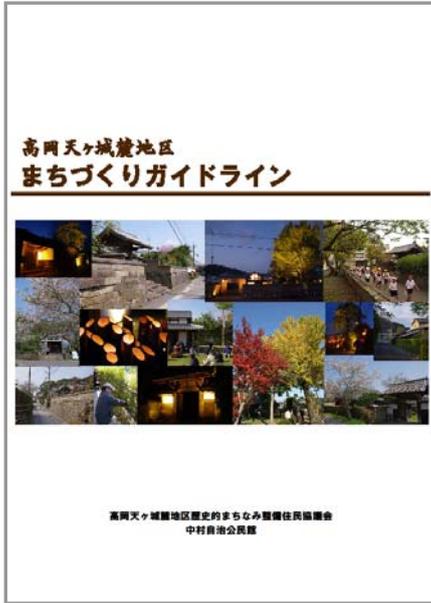


穆園館前の生垣

4時間目

一まち歩きのとまめー

歴史的景観の保全を目的としたまちづくり活動について地元・高岡天ヶ城麓地区まちづくり協議会の松木さんから、活動の様子や「高岡天ヶ城麓地区まちづくりガイドライン」の説明をして頂きました。



高岡の歴史的な街並みを守るため、麓地区の住民の皆さんがつくった景観のルールです。

また、まち歩きの振り返りとして、班ごとに、模造紙上にまち歩きの気づきを記入、撮影した写真を貼り付け、「高岡景観マップ」を作成しました。



「高岡景観マップ」は、天ヶ城麓地区内の良いところ、改善したいところを地図上に写真付きで記載します。
班のみんなで話合うことにより、良い景観と改善したい景観の理解が深まります。みんな楽しそうに取り組んでいました♪

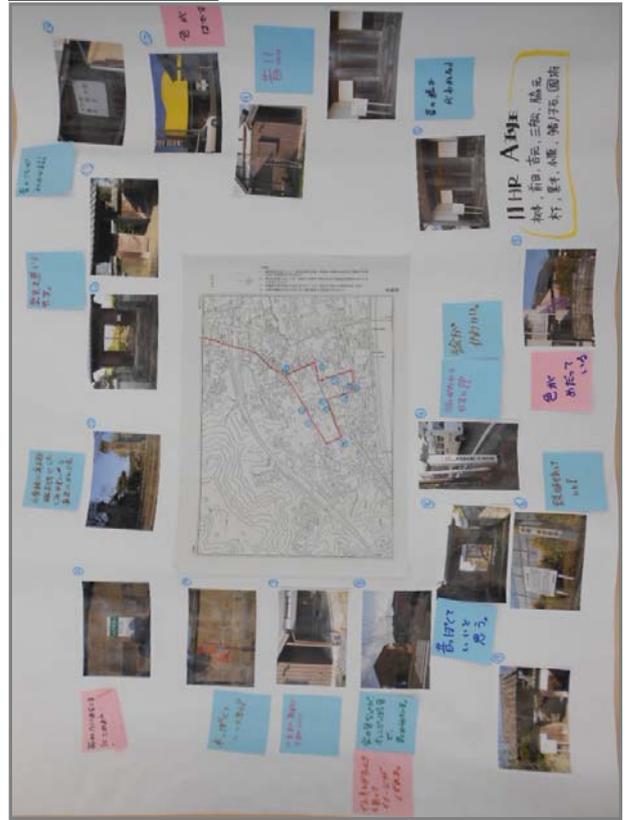


■各班の「高岡景観マップ」(4班のみ掲載)

Aコース



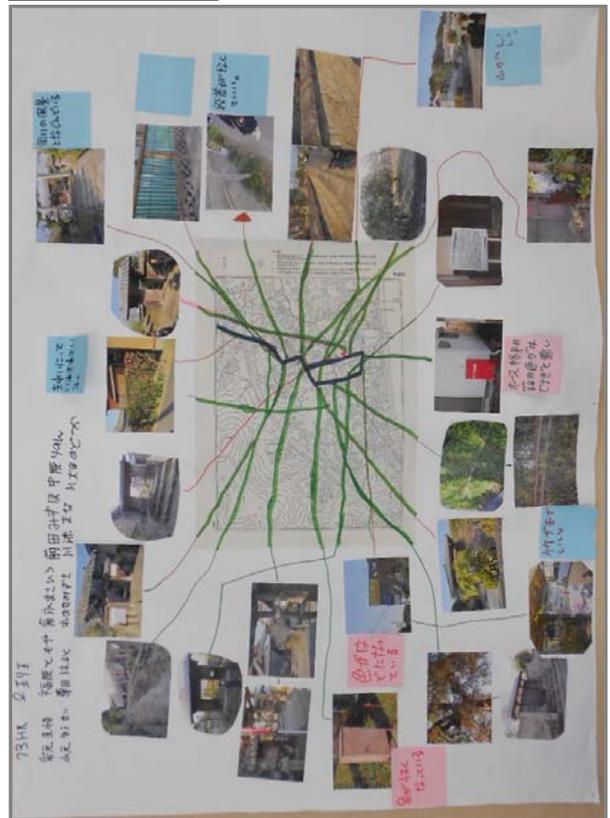
Bコース



Bコース



Cコース



第5章 景観を表現する

5時間目

—「高岡の景観絵はがき」作成—

前回作成した「高岡景観マップ」を参考にして、遠くにいる友人や知人、親戚などに高岡に遊びに来てもらえるよう、高岡の良い景観を紹介する絵はがきを作成しました。

作成にあたっては、高岡の景観を色鉛筆や絵の具などで描き、その雰囲気や気配が伝わるよう、俳句（5・7・5）を絵に添えることとしました。



絵はがき作成の説明をする日高さん



絵はがき作成の説明（海老原さん）



みんな真剣に作成しています☆



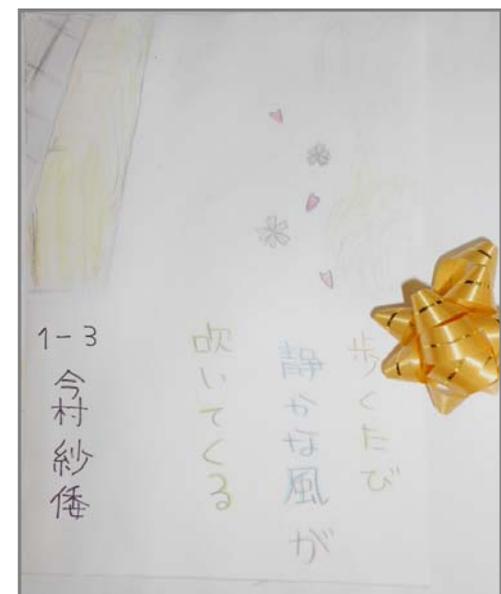
絵はがき作成の説明（福添さん）



「絵はがき」の作成は、自分が美しいと思う、みんなに伝えたいと思う景観を絵に描くこと、俳句としてイメージすることにより、景観を伝える表現力を養います。

みんな真剣に取り組んでいました♪

■「高岡景観絵はがき」(一部のみ掲載)



赤… 最優秀絵画
黄… 最優秀俳句



6時間目

—「高岡景観絵はがき」の作成・発表—

みんなが作成した「高岡景観絵はがき」を持ち寄り、模造紙に貼り付けて、クラスごとの作品集として作成しました。

作品には、クラスごとに「高岡のキャッチフレーズ」を決め、さらに「最もきれいに描かれた絵」と「最も良い俳句」をみんなで話あって決めました。

完成後、クラスごとに発表し、高岡の景観の美しさをみんなで確かめました。



↑ みんなの絵はがきを見て、最優秀の絵と俳句を決めています。
「これがいい、あれがいい」といろいろな意見が出ています。→



絵はがきを発表しています。



↑ クラスのキャッチフレーズをみんなで考えます☆

★発表の様子

クラス内で「最もきれいに描かれた絵」と「最も良い俳句」を発表しました。

発表では、俳句をゆっくり詠んで高岡の景観の雰囲気を感じました♪

クラスみんなで決めた「高岡の景観キャッチフレーズ」も発表、歴史や未来へ残す、守るなどの言葉が多かったですね☆



1組



2組



3組

■ 1組 キャッチフレーズ 「いにしへの街 歴史的建物」



(作品の特徴)

高岡の街でも特に歴史的建物に着目しています。

天ヶ城や武家門など、昔（いにしえ）の面影が残る街であることがわかりますね。

■2組 キャッチフレーズ「高岡は歴史伝える宝物～守ろう伝えよう皆の手で」



(作品の特徴)

高岡を「歴史伝える宝物」と表現しています。歴史的景観が残る街が数少なくなり、高岡は宮崎市の中でも歴史を伝える宝物です。皆さんの手で守って頂きたいですね。

■ 3組 キャッチフレーズ「歴史の宝箱～未来に残そうすばらしき高岡～」



(作品の特徴)

歴史の宝箱・・・描かれた作品は、石垣、武家門、天ヶ城と歴史を感じさせるものが多かったです。まさに宝物ですね。「すばらしき高岡」・・・高岡のすばらしさを感じて、未来に残しましょうね。

第6章 景観教室をふりかえって



生徒の皆さんの感想

皆さんに、景観教室を振り返って感想を書きいただきました。全文を掲載することはできませんが、その一部をご紹介します。

- 😊 この学習をするまで「景観」という言葉を知りませんでした。しかし、「景観」という言葉を頭において見てみると「少し派手だな」とか、ここは「高岡という感じがするな」とかいろいろ考えることができました。また、高岡小学校の前の道路は昔は狭かったという話を聞いて、今は車が2台と人が歩ける橋があるので人が快適に移動できるように整備してあるということを知りました。
- 😊 景観教室で高岡のことをいろいろ学び、ますます高岡のことが好きになりました。毎日通る道も少し違った見方をすることで、良い所やふさわしくない所、歴史のある所など、いろいろな景観があることに気付きました。私が高岡の町で一番好きな所はやっぱり武家門です。私は今まで、こんなに近くに歴史を感じさせる建物があることに気が付きませんでした。景観学習を通して高岡の町をよく見ることで、これからの町づくりに携わっていきたいと思います。
- 😊 景観の学習では、色々な事を学びましたし、高岡の景観にはいけないこと、景観でとてもいいところにも気付きました。私は高岡には歴史的な建物は多いということに気付きました。例えば武家門、武家門のへの石でできている壁には地域の方が作った武家門の案内板がありました。パチンコ屋のところには昔映画館ということもわかりました。町を歩いたらある人の家の階段は派手だったりしていました。私は歴史的な建物の武家門を描きました。そして五七五は高岡といったら桜と思ったので桜も使いました。
- 😊 景観教室を終えて自分の生活の中の景観に興味を持つことが多くなりました。学習の中で高岡を歩いて回った時、高岡の新しい魅力を知ることができました。でも、私が歩いたルートの中に、ひとつ気になった建物があります。それは「内山神社」です。C班のルートでは一番始めの大きな建物でした。これを見て「この建物を守りたい」と思いました。高岡の文化財として、大切にしていきたいです。この学習で普通に見過ごしていた高岡町から自慢できる町として大切にしていきたいという考えへと変わりました。
- 😊 僕は景観学習を通して初めて知った事、驚いた事などたくさんありました。初めて来ていただいた時に景観の説明をしていただいて建物をつくる時は派手な色ではなく周りにあった色じゃないといけないと聞いた時に自分はどんな色でも良いと思っていたのでびっくりしました。2回目に来ていただいた時は実際に高岡の街を歩いてみて武家門などがあって、高岡は天ヶ城や武家門など「とても歴史のある町だなあ」と思いました。僕はそんな町で育ってとてもうれしく思いました。そしてこれから社会人になったりして色々な所に行ったりした時は今回の学習で学んだ事を活かして、色々な建物を見て色々な事を感じられれば良いなと思っています。
- 😊 「景観教室」であらためて、この私たちの住んでいる高岡町を見て、今まで知らなかったことなどが分かりました。私が一番いいなあとと思った景観は地域の家に植えてあるお花などです。その花や植物はきれいに整えてあり見る人の心も温かくなるようでした。地域の人たちが植えているのも見えるような気がします。高岡の良い景観がこれからも続くといいです。

- 😊 一番心に残ったことは高岡の中に色々な武家門があったということです。たまに通る道沿いの武家門は普通の家だと思っていたので驚きました。高岡小学校の前の道路は昔、馬が通っていたということを初めて知りました。高岡にもちゃんとした歴史があることを知り、嬉しくなりました。花壇や植木の手入れもボランティアの方々がいて、きれいに咲いているんだと思いました。他にも昔の看板や神社があり、歴史がたくさんつまっているいい場所だなと思いました。現代の人までの愛情がこもって作られているんだなと深く感じました。これからもその歴史をつないでいきたいと思います。
- 😊 私が景観教室で一番心に残ったことは、実際に高岡の色々な場所に見にいったことです。その中で、武家門や古い建物があり、すごいなと思いました。いつも登校するときに通っていたけれど、あまり深く考えたり見たりしたのは初めてだったので、とても良い勉強になりました。高岡の景観を見るだけでなく、途中でその場所の説明や歴史をお話してくれてとても分かりやすかったです。高岡の町を見た後の作業もどんなところにどんな建物があつたかをもう一度確認することができ、みんなで高岡の景観について確認することができました。また、俳句を考えたり、絵を描いたりしてとても心に残りました。
- 😊 私は景観教室を通してたくさんを知ることができました。初めに行われた景観についてでは、クイズもあり、勉強になりました。町探検は普通、なにげなく通っていた道に深い歴史があつて1番心に残っていることは竹の柵をビニールテープで結ばずに竹のかわで結び、周りから見たときに自然に思わせる工夫です。高岡について連想して天ヶ城が一番多かったです。「高岡で育ってよかったな」と感じました。絵葉書を作りでは私は武家門を描きました。絵を描くことによって特徴をしっかりと観察できました。このすばらしい歴史を未来へ残すために、私達の高岡を大切にしていきます。
- 😊 私は景観教室をするまで、高岡のいいところをあんまり知りませんでした。でも、1回目の授業で連想ゲームをして、よく考えたら結構、高岡のいいところってあるんだなあと思いました。2回目の授業では、高岡を歩いてみて、いつも自転車で通っているところをゆっくり見てみると、今まで気付かなかつたことがたくさんありました。あんなにたくさんの武家門があることを初めて知りました。良い景観と悪い景観を見つけながら歩いているとき、すごく楽しかったです。高岡がそんなに好きじゃなかつたけど、景観教室をやっているうちに、どんどん高岡のことが好きになっていきました。この美しい景観を残していきたいと思うようになりました。
- 😊 景観教室でいろんな事を学びました。まず、この景観教室を学習する前までは、「景観」という言葉も知りませんでした。でも、この景観について学習して「景観の大切さ」を知りました。例えば、天ヶ城だつたり武家門だつたり高岡石だつたり、これらの物は全て歴史を感じさせるととても大切な宝物に見えました。これからは、この宝物を僕たちの後の世代に残すようにゴミが落ちていたらそれを拾つたり、たまにそうじをしたりして、よりきれいに、後の世代に残していくようにこれから努力していきたいです。そして、僕たちに景観という大事な宝物について教えてくれた人たちに感謝したいです。
- 😊 初めの頃「景観」という言葉を知りませんでした。初めての景観学習の時は「へ〜」と思うことがたくさんありました。また、ワークショップでは、キーワードの高岡から色々な言葉まで出てきて、すごく楽しかったです。2回目の授業はすごく楽しみでした。高岡の町を歩いたことがなかつたので、いろんな武家門を見たり勉強になりました。3回目の授業では絵はがきと俳句を書きました。俳句がポンポン出てきて楽しかったです。車に乗って外を見てみると最近では景観を自然と探しています。これからも自分家の近くや県外に行った時でも景観を探したいです。景観学習、すごく楽しかったです。

- ☺ 私は自分たちの町で景観学習をするのは初めてでした。いつもふつうに通っている道も少し目をそらせば、いろんな発見がありました。その発見やこの町の悪い所も模造紙にまとめると、さらにこの町のことが分かりました。自分の気に入った町の景観を絵に書いたり、俳句にしたり、ほかにもいろいろなことをしました。いつも通っている道でも少し目をそらすことも大切だと思いました。これから自分なりの景観をして、発見をたくさんして、景観を楽しみたいです。
- 😊 3 時間目の景観学習のときに高岡町の古い建物、昔ながらの景色などを一つづつまわり写真をとっていきました。学校に着くと、撮った写真を紙にはりつけてマップを作りました。班のみんなと意見を出し合ったりとても楽しかったです。次の時間では、絵はがきを書きました。自分の好きな場所などを絵で描いて五七五もつくりました。武家門を描いていた人がほとんどでしたが、昔のことが分かるような道にあう植物を描いたりしてできあがったのをみんなの前で発表しました。最後にみんなのものを1つにしてとてもいい作品ができました。これからも高岡町の建物を大切にしていきたいです。
- 😊 私は、一番初めに「景観」と聞いた時に全然何のことなのかが分かりませんでした。スクリーンで日高さんが説明してくれた時にやっと「景観」とはこういうことなんだと少しずつ分かりました。実際に班に分かれて高岡の景観を探しました。周りの風景にあっていない建物、周りの風景の色にあっていない看板など沢山の景観を見つけ、見ることができました。カメラで写真を取り、班で模造紙にもまとめました。いいところ、悪いところ、それぞれふせんに書き、模造紙に沢山貼りました。今回の授業で私は景観の意味を沢山知ることができました。



最後にクラスのみんなで記念撮影を行いました。





1年2組のみなさん



1年3組のみなさん



講師の建築士会 日高 達郎さんのお言葉

最後に、授業をしていただいた、建築士会の日高 達郎さんの感想を掲載します。



(社) 宮崎県建築士会
日高 達郎さん

高岡中学校での景観教室を、地元高岡町在住というご縁もあり担当させていただきました。

高岡町は薩摩藩ゆかりの町で歴史や自然が数多く残る素晴らしい町です。その町の良さを、「景観」をテーマにして生徒たちに6時間という限られた時間の中でどのように伝えて行くかをじっくりと考えました。

一日目は二時間の授業の中で、「景観」に関するオリエンテーションから始まり、高岡からイメージする事を地図にするマインドマップ作りを行いました。二日目も二時間、実際にまちを歩き、生徒たちに「景観」に関する写真を撮ってもらい、それをもとに「高岡景観マップ」としてまとめました。

その後は、ちょうど冬休みを挟んだこともあり、「景観」を意識して町を観察するようにと宿題を出しました。

冬休み後に行った三日目は、各個人に「自分の好きな高岡の景観」をモチーフにして、景観絵はがきと景観川柳を作りました。また、四日目は、そのまとめとしてクラス毎に模造紙に貼り、ベストオブ絵はがき、川柳を考え、発表しました。

最初の授業で生徒たちに「景観って何か分かりますか？高岡のまちは好きですか？」と聞いた時、ほとんどの生徒が手を挙げませんでした。最後の授業で同じことを聞くとほとんどの生徒が手を挙げてくれた事が大変嬉しくもあり、大きな成果になったと思っています。

生徒には「今までは、みんなのおじいさんおばあさんお父さんお母さん、また地元の人たちが大切に守って来た高岡の景観を今度はみんなが守っていく番です」「高岡の景観だけでなく、宮崎の景観、日本の景観、地球の景観が良くなるようにみんなで頑張ってください」と伝え、授業を終えました。

今回の授業の成果を、2月12日の参観日で発表しました。また、みんなで作った景観ポスターを高岡総合支所に展示し、町に暮らす多くの方々に見て頂きました。

最後にこのような貴重な経験をさせて頂いた宮崎市景観課の取り組みに感謝致します。また、来年度以降もこの景観教室がますます発展していく事を願い、そしてこれからも微力ですが積極的にこのような形で地域貢献していきたいと思っております。

(社) 宮崎県建築士会 日高 達郎



平成24年度 景観教室実施報告書（高岡中学校編）

平成25年3月発行 宮崎市都市整備部景観課

〒880-8505 宮崎市橘通西一丁目1番1号

TEL 0985-21-1817 FAX 0985-21-1816

[ホームページ](#)

[みやざきの景観](#)

[検索](#)